

平成29年度行政評価シート【個表】

平成 29 年 6 月 19 日

評価対象事業		評価者	文化財課担当課長 西山 朗	
文財-03	実施事業	史跡調査・整備事業	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務	主管課 文化財課
			<input type="checkbox"/> 法定受託事務	関連課
総合計画上の位置付け	分野	歴史環境	施策の方針	史跡の指定、保存・管理、整備及び活用

1 事業の目的

対象	国等指定史跡、指定候補地
意図	国等指定史跡、指定候補地を調査・整備し、保存・活用するため。
効果	国等指定史跡の指定及び保存・活用を図る。

2 平成28年度に実施した事業の概要

全国史跡整備市町村協議会等へ参加した。 西瓜ヶ谷やぐら群の発掘調査報告書を作成した。

3 事業費等基礎データ

データ区分	27年度決算		28年度決算		データ区分	29年度当初予算		備 考
	人 口	世 帯 数	人 口	世 帯 数		人 口	世 帯 数	
人口等のデータ	177,243人	80,676世帯	176,869人	80,928世帯	176,466人	81,150世帯		・各年3月31日 (住民基本台帳)
事業の対象者数								
運営資源状況	決算値(千円)	50	166		当初予算(千円)			
	国県支出金				国県支出金			
	地方債				地方債			
	その他				その他			
	一般財源	50	166		一般財源			
事業経費運営	人員配置数	0.5	0.5		人員配置数			
	人件費(千円)	3,887	3,905		人件費(千円)	0		
	総事業費(千円)	3,937	4,071		総事業費(千円)	0		
	市民1人当りの経費(円)	22	23		市民1人当りの経費(円)			
	対象者1人当りの経費(円)				対象者1人当りの経費(円)			

4 評価結果

※「効率性」「妥当性」「有効性」「公平性」「協働」については、プルダウンで選択。

効 率 性	事業費に削減余地はないか	1. ある
	関連・類似事業との統合はできないか	1. 統合できる
妥 当 性	事業の実施に対する市民ニーズはあるか	3. 変わらずにある
	事業の廃止・休止による市民生活への影響は大きい	2. 廃止・休止による影響は小さいがある
	今後も市が実施すべき事業か	5. 豊かな市民生活に寄与することから、今後も市が実施する必要がある
有 効 性	事業の成果は得られているか	2. 成果は概ね出ているが、更なる努力は必要である
	事業の上位施策に向けた貢献度は大きい	3. 事業の方向性や手法は概ね適切であり、一定程度貢献している
公 平 性	受益者負担は公正・公平か	△-3. 受益者が特定できないため、受益者負担を求めることができない
協 働	市民等と協働して事業を展開しているか	△-1. 今後、市民等との協働による事業実施に向けた検討が必要である
		協働実施済の場合のパートナー

事業内容の方向性	<input type="checkbox"/> a: 事業内容を見直す	見直しの種類	<input type="checkbox"/> 拡大	見直しの内容	史跡環境整備・文化財調査整備	事業へ統合
	<input type="checkbox"/> b: 事業内容は現状通りとする		<input type="checkbox"/> 縮小			
	<input type="checkbox"/> c: 事業を休止又は廃止する		<input type="checkbox"/> その他			
	<input checked="" type="checkbox"/> d: 他事業と統合し、本事業は廃止する					

予算規模の方向性	<input type="checkbox"/> A: 予算規模を拡大する	事業内容・予算規模の方向性設定の理由	本事業は廃止するが、史跡の新規・追加指定に向けた調査や、史跡整備のための調査などは実施していく必要があるため、業務は史跡環境整備事業及び文化財調査整備事業に移行し、現状維持とする。
	<input checked="" type="checkbox"/> B: 予算規模は現状維持とする		
	<input type="checkbox"/> C: 予算規模を縮小する		

総評(評価に対する考え方、根拠等)	史跡指定は貴重な文化財の保護を図るための有効な手段であることから、西瓜ヶ谷やぐら群の報告書を作成、刊行した。 史跡等の整備に関する調査研究及びその基本的方策の推進を図り、文化財の保存と活用に資するため、全国史跡整備市町村協議会に参加した。 本事業内容は他の事業と重なる部分があるため、史跡の新規指定および追加指定のための調査などは文化財調査・整備事業、既指定地内での調査や全国史跡整備市町村協議会関連の事業は史跡環境整備事業へ統合するための検討を行った。
-------------------	---

平成28年度事業実施にあたっての課題(前年度未解決の事項を含む)	西瓜ヶ谷やぐら群については、今後、調査成果をまとめるとともに、指定に向けて県、国と協議を行うとともに、必要な資料をまとめていく必要がある。							
課題解決のために行った平成28年度の取組	西瓜ヶ谷やぐら群の発掘調査報告書の作成、刊行を行った。 過去に行われた発掘調査を分析するとともにやぐら群周辺地域の遺構分布を確認し、神奈川県文化遺産課、文化庁と協議を進めた。							<input type="checkbox"/> 解決 <input checked="" type="checkbox"/> 一部解決 <input type="checkbox"/> 未解決
未解決の課題、新たな課題とその理由	西瓜ヶ谷やぐら群の国指定史跡指定に向け、発掘調査を実施し報告書をまとめたが、国・県からさらなる調査研究を求められており、指定には至っていない。 玉縄城址は埋蔵文化財包蔵地であるが、地域住民から保全の要望があり、保護を図るため新たに史跡指定を目指していくこととなった。							

○ 他市比較・ベンチマーク(県内外自治体など他自治体や民間団体との比較値)

比較事項								
団体名	鎌倉市							
他市実績								
比較事項								
団体名	鎌倉市							
他市実績								
比較事項								
団体名	鎌倉市							
他市実績								
当該事業実施に伴う他市比較に関する考え方								

◎ 事業実施に係る指標

指標の内容					単位		指標の傾向		備考
当該指標を設定した理由	年次	H26	H27	H28	H29	H30	H31		
	目標値								
	実績値								
	達成率								
指標の内容					単位		指標の傾向		備考
当該指標を設定した理由	年次	H26	H27	H28	H29	H30	H31		
	目標値								
	実績値								
	達成率								
指標の内容					単位		指標の傾向		備考
当該指標を設定した理由	年次	H26	H27	H28	H29	H30	H31		
	目標値								
	実績値								
	達成率								
当該事業実施に伴う指標の推移に関する考え方									